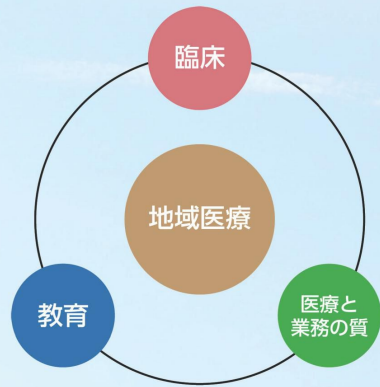


ご挨拶

地域医療振興協会について

「地域医療の確保と質の向上を図り、もって地域の振興を図る」ことを目的に設立され、現在、全国 47 都道府県の支部を有します。運営する施設は 76、働く職員数は 9,000 名に上り、行政・地域住民と一体となって病院、診療所、複合施設など地域における医療の提供を行っています。

レジデントプログラムについて



この薬剤師レジデントプログラムは、EBMの実践できる薬剤師を育成し、どの地域においても標準的な医療を提供することで、日本の医療レベル向上に寄与することを目的に立ち上がりました。プログラムでは急性期病院のほか、慢性期・地域包括ケア病院や地域中核病院での研修も行うことで、どの医療ステージにおいても標準的な医療の提供につなげられる薬剤師となることを目指します。

この2年間のプログラムは、皆さんが10年、20年後も自信をもって医療に携わり、臨床薬剤師として活躍するための基礎スキル修得に役立つものと信じております。当院が研修医の基幹型研修病院として教育の文化があること、医師、看護師をはじめとする多職種との協働体制は全国でも有数の環境であり、私たちにしかできない教育プログラムであると自負しております。ぜひ、今後の日本の医療を支える臨床薬剤師として、私たちとともに歩んでいただける方をお待ちしております。



病院薬剤師の卒業教育は、現在のところ就職した病院の機能や規模によって大きく異なり、系統だったカリキュラムを持つ病院は一部の大学病院を除きほとんどありません。地域医療振興協会では、これまで医師や診療看護師などの研修プログラムを多く運営し、数多くの卒業生を送り出して参りました。その経験を踏まえ、薬剤師の臨床スキルを短期間で効率的に学ぶ薬剤師レジデントプログラムを開始する運びとなりました。多くの皆様がこのレジデントプログラムを活用し、全国で活躍されることを期待します。

東京ベイ・浦安市川医療センター 管理者 神山 潤



これまで、薬剤師レジデントプログラムという認定薬剤師などのスペシャリストを育てるプログラムが中心でした。しかしながらスペシャリストになるためには、当然ジェネラリストとしての広い知識の習得がまず基本となります。また、多くの病院薬剤師はジェネラリストとして活躍しています。

そこで、地域医療振興協会では、2年間で偏りのない広い知識と経験を習得できるジェネラリスト育成プログラムを作成いたしました。新卒既卒を問わず、短期間で実力をつけたいやる気ある皆様の参加をお待ちしております。

東京ベイ・浦安市川医療センター 医療技術部長 三枝邦康

レジデントプログラムの到達目標

- EBM=Evidence Based Medicineの実践(臨床上の問題点を解決するための情報を収集、評価し、当該患者への適応を判断)できる薬剤師の育成
- 国内どの地域、どの医療ステージにおいても標準的な医療を提供できる薬剤師の育成

● 高齢者医療

- ポリファーマシー対策
- NST などを通じた院内チームでの栄養療法の実践
- がん、非がんにおける緩和医療
- 老年医学に準じた薬物療法の実践

● 慢性期医療

- ポリファーマシー対策
- NST などを通じた院内チームでの栄養療法実践
- がん、非がんにおける緩和医療
- 老年医学に準じた薬物療法の実践

● 成人医療

- 抗菌薬適正使用のための抗菌薬選択、投与期間への介入
- 薬物療法の効果対費用の評価による医療費削減
- 頻度の高い疾患における薬物治療の質改善
- 薬物療法の効果と有害事象の評価
- 多職種連携による医療の質向上
- 慢性期まで考慮した薬物治療の実践

● 回復期医療

- 慢性期まで考慮した薬物治療の実践
- 服薬指導スキル

● 周産期・小児医療

- 年齢と代謝に応じた抗菌薬選択と適正使用
- 服薬指導スキル
- 承認外医薬品の情報収集、評価

● 急性期医療

- 抗菌薬適正使用のための抗菌薬選択、投与期間への介入
- 薬物療法の効果対費用の評価による医療費削減
- 頻度の高い疾患における薬物治療の質改善
- 承認外医薬品の情報収集、評価

● 高度急性期医療

- 多職種連携による医療の質向上
- 薬物療法の効果と有害事象の評価



スケジュール



病棟研修

- ・指導薬剤師のもと、複数診療科で実施し臨床スキルを習得する
- ・服薬指導、薬物療法の効果や有害事象の評価、処方設計を学ぶ

※協会内の施設へ短期研修を行う場合もあります



多職種連携

- ・各専門職の役割を知り、医療チームにおける薬剤師の役割を学ぶ



緩和ケア

- ・緩和ケアと緩和薬物療法を理解する
- ・病期を考慮し、疾患の治療のみに捉われない全人的介入を実践する



医薬品情報

- ・医薬品情報を収集、評価し、当該患者に適用できるかを判断できるスキルを修得する



セントラル業務

- ・注射・製剤業務を学び、調剤の基本スキルを修得する



コミュニケーションスキル

- ・ディスカッションに必要なスキルを修得する



在宅診療

- ・在宅診療に同行し、診療の実態と薬剤師にできることを学ぶ



高齢者医療

- ・長期間の入院生活や在宅療養を見据えた薬物療法を実践する
- ・処方提案から長期間にわたる薬物療法の評価を行う
- ・高齢者における薬物療法の注意点を理解する



各種カンファレンスに参加

- ・治療の方向性や薬物療法について、薬剤師の視点から評価し提案するためのスキルを修得する



災害時医療

- ・災害時の医療提供、医薬品供給にたいする管理体制について学ぶ



症例報告

- ・レジデント一名につき1年次、2年次の各2回、研修で介入した症例の報告会を実施
- ・自身や他のレジデントの症例報告を通じ、自己介入の振り返りと知識の整理、プレゼンテーションのスキルを修得する



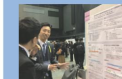
経静脈栄養療法

- ・NSTにおける薬剤師の役割を理解し、輸液、栄養管理を学ぶ



教育スキル

- ・薬学実習の指導にかかわることで、自己研鑽だけでなく指導者としてのスキルを修得する



研究活動

- ・臨床研究、学会発表を行う際は、研究計画立案から発表までに必要なスキルを修得する



外来化学療法

- ・薬物療法の適応評価や投与設計をはじめ、患者指導、治療効果と有害事象の評価を行うスキルを修得する

東京ベイ・浦安市川医療センター

- 高度急性期医療
- 広範囲の診療科目
- 国際基準の医療

1年次

中央業務、臨床基礎知識(薬物動態、相互作用、内服薬・注射薬)、プレゼンテーションスキル、コミュニケーションスキル、臨床業務(内科、外科系)、化学療法、医療安全、倫理、薬学実習、症例検討会

2年次

臨床業務(内科、小児、産科)、薬物治療モニタリングの基本スキル、医薬品情報の検索スキル、医療の質改善に対する実践スキル、臨床研究、中央業務、薬学実習、症例検討会

台東区立台東病院

- 急性期医療
- 回復期医療
- 慢性期医療
- 高齢者医療

伊東市民病院

- 在宅医療
NST、緩和ケア、訪問診療への同行、長期使用薬剤の効果・副作用評価
医療に対する患者の意思決定
- 外来診療支援
- 災害時医療

東京ベイ・浦安市川医療センター



全ては生き続ける人の「これから」のために。
笑顔に満ちた心ある医療を通じて地域の絆を育みます。



当院は救急医療・小児医療・周産期医療・高齢者に対応した医療を4本柱に掲げて浦安市、市川市、江戸川区などの医療圏を幅広くカバーする地域の基幹病院としての役割を担っております。また、国際化する社会で活躍できるよう薬剤師も国際標準の医療を学び、活躍できる人材育成に力を入れております。

薬剤師は薬物療法の専門家として、適切な薬物療法の実践に責任を持ち取り組むことを常に考え、コミュニケーション能力、臨床推論、医療の質など「臨床薬剤師力」を身につける教育を意識して行いながら、臨床研究など学術的な教育も行っております。急性期病院であるが故に当院で学ぶことが難しい、高齢者医療や慢性期医療、地域医療、外来での薬剤師の関わりなどは連携病院で学ぶことプログラムを構築しております。当院のプログラムはまだ新しいものですが、常に国際水準を意識し、実践する環境を整えています。まずはジェネラリストとして薬剤師力をつけたい方、国際水準の医療に携わりたい方、今後も発展していく当院プログラムと一緒に作り上げることに興味のある方をお待ちしております。

病院概要

開設 2009年4月（リニューアル：2012年4月）
開設者 公益社団法人地域医療振興協会
管理運営 公益社団法人地域医療振興協会
病床数 344床（一般病床340床、感染症病床4床）
診療科 内科、循環器内科、心臓血管外科、消化器内科、外科、呼吸器内科、腎臓・内分泌内科、人工透析内科、救急科、糖尿病内科、産婦人科、小児科、小児外科、麻酔科、脳神経外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、神経内科、泌尿器科、皮膚科、集中治療科、病理診断科、放射線科、放射線診断科 / リハビリテーション科、感染症内科、膠原病内科

薬剤室概要（2021年1月現在）

人員：薬剤師25名
認定薬剤師、外来がん治療認定薬剤師、感染制御認定薬剤師、抗菌化学療法認定薬剤師、周術期管理チーム薬剤師、救急認定薬剤師、研修認定薬剤師、認定実務実習指導薬剤師、腎臓病療養指導士、日本糖尿病療養指導士、糖尿病薬物治療認定薬剤師、千葉県糖尿病療養指導士、ICLSプロバイダー、Ph DLSプロバイダー、FCCSプロバイダー、スポーツファーマシスト
処方箋件数/月（2019年度平均）
・入院処方箋枚数：7050枚
・外来院外処方箋枚数：7921枚 院外処方箋発行率：94.1%
・入院注射処方箋枚数：9974枚 外来注射処方箋枚数：3102枚

■病院所在地

千葉県浦安市当代島3-4-32 TEL：047-351-3101 FAX：047-352-6237 <https://tokyobay-mc.jp/>
《交通アクセス》 電車でお越しの場合
・東京メトロ東西線 浦安駅 徒歩約8分

台東区立台東病院



「ずっとこのまちで暮らし続けたい」を応援します。



当院の特徴は、急性期、回復期、療養期そして老健を併設していることです。訪問診療や訪問看護、訪問リハも行っており、自宅療養者から急性期の治療、施設での療養からお看取りに至るまで様々なステージの患者さんがおり、台東区の住民が安心して暮らす地域包括ケアを実践しています。急性期の治療後、療養生活は数か月～年単位という長期にわたります。長期にわたり患者さんに関われるということは、自分自身で提案した薬物療法を長期間モニタリングできるということです。その提案が、患者さんの生活にどのように影響を与えたか、しっかりモニタリングすることができません。老年薬学、ポリファーマシーという観点を中心に、薬物治療への関与、そしてその提案の責任を取るこの大切さを学んでいただけます。

病院概要

開設 2009年4月
開設者 台東区
管理運営 公益社団法人地域医療振興協会
病床数 病院：120床（急性期40床、回復期40床、療養40床）
老健：一般棟100床、認知棟50床
診療科 総合診療科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

薬剤室概要（2021年1月現在）

人員：薬剤師5名
処方箋件数/月（2019年9月）
・入院処方箋枚数：1348枚
・外来院外処方箋枚数：4423枚 院外処方箋発行率：99.6%
・入院注射処方箋枚数：952枚 外来注射処方箋枚数：493枚

■病院所在地

東京都台東区千束3丁目20番5号 TEL：03-3876-1001 FAX：03-3876-1003 <https://taito.jadecom.or.jp>
《交通アクセス》 電車でお越しの場合
東京メトロ日比谷線 入谷駅 徒歩約10分 / 東京メトロ日比谷線 三ノ輪駅 徒歩約10分 / つばエクスプレス 浅草駅 徒歩約14分
都電荒川線 三ノ輪橋 徒歩約15分

伊東市民病院



市民の生命と健康と生活を守り地域発展に寄与します。



静岡県東部地域に位置する伊東市。その人口69000人の40%以上が高齢者という地域の医療を担う地域支援病院です。30～40年後の日本が直面する課題に地域と共に日々向き合っています。また、観光地という立地もあり、日々生活している方のみならず旅行者の患者さんが一定数いることも当院の特徴かと思われれます。

急性期の患者から社会的入院が必要となる患者など地域柄様々な患者に関わることとなります。へき地での診療とは何か、高齢化社会の医療とは？限られた資源の中で、患者や家族、個の選択を実現するためにはどうしたらよいか。当院での研修で体得して頂きたい内容です。

病院概要

開設 2001年3月（リニューアル：2013年3月）
開設者 伊東市
管理運営 公益社団法人地域医療振興協会
病床数 一般病床：250床
（集中治療室14床、回復期リハ病棟42床を含む）
診療科 内科、消化器内科、循環器内科、内分泌・代謝内科、心療内科、小児科、外科、形成外科、整形外科、産婦人科、耳鼻いんこう科、皮膚科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、放射線科、救急科

薬剤室概要（2021年1月現在）

人員：薬剤師7名
処方箋件数/月（2019年度平均）
・入院処方箋枚数：3034枚
・院外処方箋発行率：95.6%
・入院注射処方箋枚数：14402枚 外来注射処方箋枚数：1743枚

■病院所在地

静岡県伊東市岡196-1 TEL：0557-37-2626（ミンナフロフロ） FAX：0557-35-0631 <http://www.ito-shimin-hp.jp/>
《交通アクセス》 電車でお越しの場合
伊東線 伊東駅 バス約10分 / 伊豆急行線 南伊東駅 徒歩約7分

レジデント募集 募集要項

職 種	薬剤師レジデント
雇用形態	常勤待遇 2022年4月～2年間
採用人数	4名
必要資格	2021年度の薬剤師国家試験で薬剤師免許取得予定の方 薬剤師免許をお持ちの方
勤務場所	東京ベイ・浦安市川医療センター/伊東市民病院/台東区立台東病院 ※協会内の施設へ短期研修を行う場合もあります
給 与	協会規定により支給
諸手当	薬剤師手当/時間外手当/ 住宅手当(借家27,000円まで) 伊東市民病院勤務時は官舎利用可 家族手当/通勤手当(実額・月50,000円限度) 賞与: 年2回(6月・12月) 計4.00ヶ月分(2019年度実績)
休日・休暇	年間休日115日(2019年度実績)/リフレッシュ休暇3日 有給休暇初年度10日/慶弔休暇
勤務時間	《東京ベイ・浦安市川医療センター》 ※勤務地に準ずる 平日8:30～17:15、土・日・祝日8:30～17:15(交代で勤務) 当直勤務あり(月1～2回程度)
福利厚生	健康保険/厚生年金/雇用保険/労働者災害補償保険 日本病院会倶楽部福利厚生制度/院内優待など
選考方法	[応募方法] ■ 新卒の方 : 履歴書(写真貼付)・成績証明書・卒業見込証明書・健康診断書のコピー (1年以内のもの、学校で受診したもので可) 上記書類を下記連絡先に、簡易書留にて郵送 ■ 薬剤師免許をお持ちの方 : 履歴書(写真貼付)、職務経歴書、 薬剤師免許写し(応募書類は返却いたしません。責任を持って処理いたします。) ■ 選考方法 : 書類審査、自己PRプレゼンテーション(Power Point 5分程度)、面接 * 応募者多数の際は、書類審査を先に行うことがあります。 採用予定日: 2022年4月1日
備 考	■見学・説明会 2021年6～7月頃 ■試験日 2021年8月頃 ※各日程について、決定次第ホームページにてご案内させていただきます。
連絡先	〒279-0001 千葉県浦安市当代島 3-4-32 東京ベイ・浦安市川医療センター総務課人事担当係 *封筒に「薬剤師レジデント応募」と朱書きして下さい。 TEL 047-351-3101 総務課採用担当